

第1回しずおか食セレクションに 天空の茶産地 川根奥光が認定

世界に誇れる商品を厳選

本町と大井川農協がブランド化を進めている「天空の茶産地 川根奥光」が、第1回しずおか食セレクション認定商品に選ばれました。

多彩で高品質な静岡県の水産物や加工食品の中から、全国、世界に誇れる価値や特徴を備えた商品を厳選し認定。戦略的にPRすることで「食の都」づくりを進め、県内産業の活性化を図る取り組みです。

申請された商品は①セールスポイント②商品の販売流通戦略③安全性④品質⑤使い手の評価の5項目で審査されます。



本年度は33商品の申請があり、厳正な審査の結果、20商品を認定。天空の茶産地 川根奥光は、「標高500メートルの天空の茶産地で生産された川根の高級茶」として認定されました。



交付された認定証

天空の茶産地 川根奥光：川根地域の茶業活性化のため、生産者、JA大井川、経済連、行政（島田市、川根本町、県志太榛原農林事務所）が連携して取り組んでいる「天空の茶産地を創る推進会議」で発案、商品化したお茶。製造法および仕上げ方法が異なる「赤ラベル」と「黒ラベル」のセットになっており、色、形、香り、旨味の違いを楽しむことができる。世界緑茶コンテスト2009最高金賞受賞。

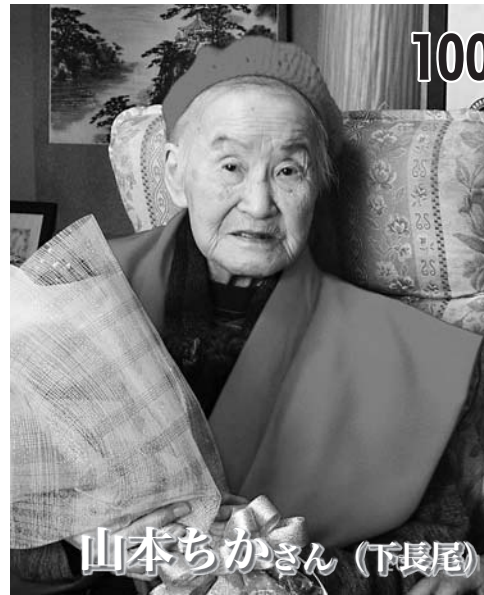
100歳の長寿をお祝い

栗田すてさん（田代）が3月11日、山本ちかさん（下長尾）が3月14日に100歳の誕生日を迎えられ、お祝いのため佐藤町長がお二人の元を訪問。花束と記念品をプレゼントしました。

すてさんは「元気でいられるのは、家族のおかげ。とても感謝しています」とアルバムを町長に見せながら話し、ちかさんは「お祝いしていただき、本当にありがとうございます」と、うれしそうに話していました。お二人とも、これからもお元気で。



栗田すてさん (田代)



山本ちかさん (下長尾)

流域を巡る現状視察会と各小学校での出前講座 年間通して「大井川」の貴さを学ぶ活動を展開

大井川の現状を視察

大井川の清流を守る研究協議会が主催する「大井川用水を学ぶ視察会」は3月5日に実施されました。

昨年に続き2回目。町内外からの参加者20人は、川口取水口（島田市）を皮切りに、神座分水工、水路橋、牧之原揚水機場、牧之原台地の調整水槽、掛川市内ため池、栃山頭首工を訪問し施設などを見学しました。

視察の後は大井川土地改良区事務所（島田市）で交流会



大井川の清流を守る研究協議会：佐藤公敏会長。大井川の環境保全を目的とした組織で構成。大井川の環境保全を目的とした組織。

実践（達成）者の報告が続々届いています 健やかウォーキングカード達成者を紹介

健康増進を目的に作成した「川根本町健やかウォーキングカード」。続々と達成者情報が届いています。掲載を承諾された人を紹介します（敬称略）。まだカードの交付を受けていない人は、この機会にご活用ください。

地区	実践者	目標歩数・時間 (一日当たり)	180日間合計 歩数・時間	保健委員
小長井	池下加市	45分	145時間15分	松下君江
崎平	中西明美	—	1,149,989歩	堀井智恵子
上長尾	山下照夫	5,000歩	1,443,668歩	川島八重子
上長尾	山下より糸	30分	123時間45分	川島八重子
上長尾	森下信郎	1時間	1,718,584歩	川島八重子
上長尾	森下文子	1時間30分	1,878,977歩	川島八重子
上長尾	中野とし	1時間	1,316,545歩	川島八重子
上長尾	中野悦郎	1時間	1,366,368歩	川島八重子
藤川	中村さだ	1時間30分	90時間5分	中村京子
徳山	和田久子	30～40分	187時間10分	森岡朱雅子

生活健康課 ☎(56)2222

第65回全国茶品評会で上位入賞を目指し お茶摘みさんを募集しています

川根本町茶業振興協会では、第65回全国茶品評会の上位入賞を目指して出品茶園の茶摘みを実施します。その茶摘みを手伝ってくれる人を募集しています。未経験者も大歓迎です。ぜひご応募ください。

時期 4月下旬～5月上旬
※ただし実施日は、天候によって変動する場合があります。あらかじめご承知おきください。なお、日程などはご希望に合わせます。
内容 茶摘み（日当・昼食は支給します）
場所 町内の出品茶園（決定次第ご連絡します）
締切日 4月26日

応募に際し、ご不明な点がある場合は産業課までお問い合わせください。

川根本町茶業振興協会(事務局：産業課) ☎(56)2226

大井川の清流を守る研究協議会(事務局：企画課) ☎(56)22221

を開きました。参加者からは「大井川のパワーはすごい。貴重な資源」「上流の山々にも思いを寄せ、水利用をしてほしい」と関心を寄せる声が続きました。

協議会では本年度、源流部、中流域、今回の下流域を加えて、流域全ての見学会を完了。流域全体から延べ100人の参加者が参加し、大井川の現状を知り、清流保全の意識啓発を図りました。

出前講座を各小学校で

構成市町の小学校に出向き、大井川の保全・水の貴さを流域児童に伝える試み「大井川を知る出前講座」を開講しました。1月13日の中川根第一小を皮切りに、大津小学校（島田市）、中央小学校、金谷小学校（島田市）、六合小学校（島田市）、御前崎小学校（御前崎市）で実施し、3月7日の菊川市河城小学校（菊川市）で終了しました。



対象児童は4・5年生。講師は大井川はばたきの森に集う会の小澤節子会長に依頼しました。小澤さんは、自身の経験談を元に、水の大切さ、大井川の恩恵、森林の大切さなど、写真やパネルを使って解説しました。子どもたちは、赤石岳や光岳の石が昔は海底にあったことに驚いたり、水をはぐくむ森の大切さに感心したりしながら、「大井川」は生活に欠かせない大切な資源であることを学びました。